

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



戌年企画 
ワンだふるファミリー～

～仲よし親子わんこのコマチ、ジョン、スパンク(左より)と
飼い主の守屋さん、江田さん、岩松さん夫婦(左より)～
(紹介は8ページ)

2018.11
No.
539



農作業風景PHOTOS!



甜菜収穫

岐阜地区
山内 英之さん圃場



小麦播種

富丘地区
関根 隆博さん圃場



ニンニク播種

共立地区
(株)羽石農場圃場



パレードで事故防止を呼びかけました

JAところ（川上和則組合長）は、9月13日に秋の本格的な収穫最盛期を迎え、交通事故や農作業事故などが懸念される中、悲惨な事故を未然に防ぐと注意喚起を促すことを目的に「農作業安全パレード」を行いました。
同パレードは、北見警察署常呂駐在所と北見市常呂総合支所の協力を得て、「農作業事故を防ぎましょう!」と呼び掛けながら、町内全域を巡回しました。
「焦る気持ち」が事故の原因に繋がりがねません。家族皆で声を掛け合い、作業中の事故防止に努めましょう。

農作業安全パレード

30年産甜菜の受渡しを審議

常呂町甜菜対策協議会（植松孝雄会長）は10月5日、当JJA会議室で役員10人、日本甜菜製糖㈱常呂原料事務所から野平兼志所長、井上実職員、オプザバーとして当JJAの鈴木洋平理事が出席し、「第1回常呂町甜菜対策協議会出荷協議会」を開きました。

議案第1号平成30年産原料甜菜の受渡しについて審議し、その後、議案第2号から議案第5号まで全て原案通り承認されて、第1回常呂町甜菜対策協議会は終了しました。



提出議案を審議する役員のみなさん

共計小豆の精算方法などを確認

常呂町小豆生産組合（林靖士組合長）は10月11日、当JJA会議室で組合員25人が出席し「平成30年度常呂町小豆生産組合出荷協議会」を開きました。

議案第1号平成30年度豆調整工場の操業計画について、議案第2号では平成30年産共計小豆の精算方法について審議しました。また、議案第3号では生産履歴の提出について、MIRI、YESS-Clean栽培基準について説明しました。慎重審議の結果、全議案原案通り承認されました。

出荷協議会后に小豆生産組合機械利用部会による平成30年度小豆コンバイン使用の際の留意点について説明をしました。



協議会に出席した組合員のみなさん

オホーツク農業祭でPR

「JJAとこころ青年部が出店」

オホーツクJJA青年部協議会主催の「オホーツク農業祭2018」が10月13日、サンドーム北見で開催され、JJAとこころ青年部（所長 佐々木 部長）役員9人が参加して、出店を行いました。

この農業祭は、オホーツク産農畜産物や加工品の販売を通じ青年部員と消費者との交流・理解の醸成を目的に行い、今年で9回目の開催となりました。

農業祭では他に、食農教育として「ハロウィンカボチャランタン作り」や「バター作り体験コーナー」が設置され、多くの来場者の方々が楽しく体験しました。

今年度も地元産野菜を求めた市民で会場は賑わい、各青年部が地元産の農産物や特産物などをPR、販売しました。

JJAとこころ青年部は、常呂産小豆を使用した焼きたてのたい焼きや、小豆製品、とこころピンクにんにくをPRし、販売しました。

当日は、役員が協力して、たい焼き生地づくり、焼き係、販売係と役割分担をし、来場者への宣伝や売り込みを行った結果、今年も売れ行きが好調で販売開始から完売するまで来場者の列が途切れませんでした。また、たい焼きを買われた方は「中に入っているあんこが本当においしい」と笑顔で話



青年部役員が作るたい焼きの焼き上がりを待つ並ぶ来場者のみなさん

STOP! 交通事故!!



交通事故防止を呼びかける齊藤所長

「職員に向けた交通安全講習会開く」

J Aとこころ（川上和則組合長）は、9月27日に職員を対象として悲惨な交通事故の注意喚起を促すことを目的に「交通安全講習会」を当J A会議室で開きました。

講師の北見警察署常呂駐在所・齊藤勝利所長は、「交差点に差し込む光加

減・角度によっては、信号機が全て点灯しているように錯覚してしまうことがあります。人は都合の良い情報しか受け取らないことがあるため、どちらでも青信号と勘違いしてしまい事故を起こしてしまつたケースもあります。事故は不幸な連鎖を生むので、事故が起きないように先を予測した運転を心がけましよう」と訴えていました。

またその他に、事故を起こさないため・最善の注意を図るために、実際の交通事故の事例を交えながら、職員に呼び掛けていました。

卵プレゼントキャンペーン

共同給油所

常呂町農協漁協共同給油所（山田貢所長）は、10月11日〜12日の2日間、「たまごプレゼントキャンペーン」を行い、大勢の方が利用しました。

同キャンペーンは、ガソリンと軽油が対象燃料で、店頭給油2しごとに「ホクレンたまご」を1個プレゼントするものです。

両日とも、朝から営業終了時間までたくさんのお客さんが訪れ、賑わいを見せました。



卵を手にして笑顔いっぱいのお客さん佐藤朋子さん

卵をもらったお客さんは「こんなにたくさん卵をありがとう。何を作るのかな?」と話してくれました。

旬の食材を使い

「年金友の会 料理講習・昼食会開く」

J Aとこころ年金友の会（佐藤國昭会長）は9月21日、ファーマーズハウスうえるにおいて会員15人が参加し、料理講習・昼食会を開きました。

地元で採れた旬の食材を使い昼食を食べながら懇談しようと企画され「とろみ けんちんうどん」「大根の和風ピクルス」「鮭とじゃがいもの味噌マヨ焼き」「田舎しるこの水ようかん」の4品がレシピとなりました。



レシピをしっかりと確認しながら調理しました

参加者は、講師の梶谷未知氏から作り方の工程や食材の効能を聞いた後、歓談しながら手際よく料理を作り、昼食会となりました。

試食しながら「しょうがの隠し味がいいね」「鮭に味噌マヨが合うね」など新しい発見があり、昼食会の会話も弾み、盛会のうちに終了しました。



会話を楽しみながら食卓を囲みました

うえる通信

農業研修を終えて

もり わき

森脇 さゆりさん (33) 研修期間 平成30年3月～平成30年10月

★農業研修を終えての感想は？

来町した時は、雪が積もっていて雪景色でしたが、気づくと夏も過ぎ、帰町する頃には、夕方は肌寒く常呂町の四季を体験することができました。

苗植えから収穫までの期間、維持管理作業、加工業務などを体験することができました。普段では決して経験することができないことがたくさんあったのでとても有意義な研修となりました。

★うえるの住み心地は？

必要な物は揃っており、近くにスーパーがあり、海も近く、交通の便も良いので、ステキな所でした。

★常呂町の農家の方へ一言！

色々お世話になりました。初めての事ばかりで、貴重な体験ができ、とても満足でした。

また、常呂町で農業を体験したいです!!



Farming Experience In Tokoro

～今年度、JAとくろは3人の高校生を短期農業研修生として受け入れましたのでご紹介致します。～

学校では学べないことがたくさん学ぶことができました。また、岐阜県との規模の違いが想像以上に驚きました。



川口 奈由さん

岐阜県立岐阜農林高等学校2年
受入：那須 惇さん

とても気さくな方ばかりで良い環境の中で、研修することができました。JAの方、那須さん、本当に感謝しています。



中村 実萌里さん

滋賀県立長浜農業高等学校3年
受入：那須 惇さん

石田さんもJAの方も親しみやすく、自分が学んだこと以上のものを学ぶことができ本当に良かったです。



中村 七々花さん

静岡県立富岳館高等学校2年
受入：石田 雄三さん

金融共済課からのお知らせ

一日皆貯金の実施について

一日皆貯金は昭和40年代より毎年、農協法公布記念日に合わせ積立が始められました。当時、女性は農業者年金に加入することが出来ず、「ゆとりのある老後を目指すこと」「収穫期を終え、経営主が家族に対し一年の労をねぎらうこと」を目的に女性部の協力を得て各戸訪問推進し実施されてきた歴史のある積立貯金です。

報徳の言葉に『積小為大(せきしょういだい)』という教えがあり「小さなことも少しずつ積み重ねていけば、やがて大きなものになる」という意味ですが、コツコツと積立てた貯金は老後の大切な備えになります。

地区担当職員が推進に訪問しますので、ご協力をお願い致します。



お歳暮に常呂産の逸品を

青果事務所
からの
お知らせ

年末を控え、間もなくお歳暮シーズンが到来致しますが、お歳暮用品には是非とも青果事務所（直売所）で数多く品揃えしてある常呂町産農産物加工品の逸品をご利用下さい。

単品価格

熟成黒にんにく(100g) ……	1,080円
ぜんざい 1袋 ……	108円
お赤飯の素 ……	130円
うどん 5束 ……	691円
うどん 20束 ……	2,376円
玉葱スープコンソメ味 1個 ……	432円
玉葱スーフトマト味 1個 ……	432円
こしあん・つぶあん ……	各367円



セットA
3,500円



セットB
3,000円

ぜんざい
詰め合わせ
(6袋入り)
864円



贈答用黒にんにく
2個 2,160円
3個 3,000円



※表示価格は、セット商品も含めて全て組合員価格(税込)です。

このようにサッカーには様々な魅力があるので皆さんも是非やってみてはいかがでしょうか。



休憩時間のひととき(左が尾形職員)

私の趣味は小学校一年生から今も現役でやっているサッカーです。サッカーを始めたのは、兄がサッカーをやっているのを見て、なんとなく始めたのがきっかけでした。
なんとなく始めた私ですが、気付いたときにはもうサッカーの虜でした。サッカーはもちろん辛いことがあるが、それ以上にチームメイトとの絆が深まることや点を入れたときの嬉しさや達成感が魅力なのではないかと私は思います。
先日の10月14日に望月課長に誘っていただいて参加したオホーツク地区社会人サッカーエンジョイ大会では、系統や関係機関の方など、たくさんの方々が参加しました。
ほとんどの方がお互いに初対面だったのにも関わらず、試合や練習を重ねるにつれて、よい関係を築くことができたのではないかと思います。

「私の趣味」

生産部 資材課 尾形 竜都

ちびと発信

JAマン
コーナー

発信No.58

JA職員からのオススメをジャンルにこだわらずに紹介するコーナーです。

行事予定表

11月1日(木)~11月30日(金)

11月 3日(土)

文化の日

11月19日(月)

新穀感謝祭

11月23日(金)

勤労感謝の日

11月25日(日)

農休日

11月26日(月)

第10回定例理事会

第8回理事会報告

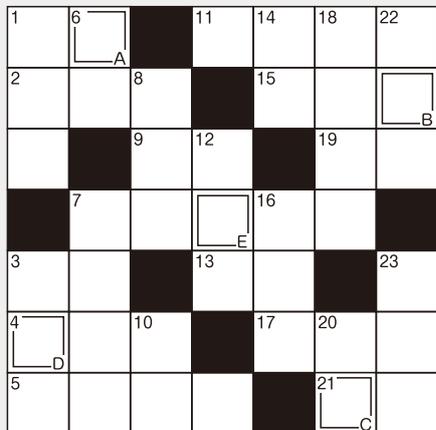
1. 平成30年度上半期ディスクロージャー誌について
ディスクロージャー誌を承認し、金融店舗へ備え付けること
で承認されました。
2. 畜産クラスター機械導入事業に係る再貸付について
原案の通り再貸付することで承認されました。

〈報告事項〉

1. 第2四半期監査報告について
2. 内部監査報告について
3. 8月末仮決算報告について
4. オホーツク地区JAの概要について
5. JA共済コンプライアンス点検結果について
6. 納税猶予の保証解除について
7. 第9回JAところ収穫“菜”の開催について
8. 胆振東部地震に係る対応について
9. 組合員の加入・脱退について
10. 農業委員会報告について

Crossword Puzzle ~クロスワード・パズル~

二重マスの文字をA~Fの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょう？



タテのカギ

- ①アフリカの川や池にすむ動物。体も口も大きい
- ②そろそろスタッドレス〇〇〇に交換しようかな
- ③まるで取り付く〇〇もない様子だったよ
- ④〇〇〇栽培はオーガニック農法とも呼ばれます
- ⑤鳥籠の中に取り付ける棒
- ⑦火事に備えて設置する物
- ⑨音はこれで聞き取ります
- ⑪落語を客に聞かせる職業
- ⑬頭をひねって絞り出します
- ⑮徳川將軍家は三つ葉葵(あおい)
- ⑰机のこと。ライティング〇〇〇
- ⑲道が十字に交差している所
- ⑳漢字では羊の歯と書く植物

ヨコのカギ

- ①武士が腰に差す物
- ③パリやベルリン、バンコク、北京など
- ⑥8は2の4〇〇です
- ⑦英語ではゼブラ。草食動物です
- ⑧月が出ていなくて真っ暗です
- ⑩タンスなどに加工する軽い木材
- ⑫家族やごく近い人のこと
- ⑭遠くて近きは男女の〇〇
- ⑯モミジとも呼ばれる木
- ⑱10月は神無月、11月は〇〇〇
- ⑳ネタやシャリなどから作ります
- ㉒このぶんしょうにはつかわれていません
- ㉓ヒトコブ〇〇〇やフタコブ〇〇〇は砂漠で使われる動物

先月の当選者・解答

10月号のまちがい探しの答えは、「2、7、8、9、11」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。
岡部 ヒロ子さん(岐阜)
※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、サロマ湖鶴雅リゾート入浴券(ペア)を1名の方にプレゼントします。

読者の声

★毎月、広報に誰が載るか楽しみにしています。

(匿名希望)

★たくさん写真が載っているので見ていて面白いです。

(匿名希望)

農業を担う青年たち

最終回

※今年度の新規就農者の皆さんを前月号から引き続きご紹介致します。

○就農について（きっかけ・今後の抱負）

調理師として仕事をしているときに農作業の手伝いをして興味がわき、生産者側の立場も勉強してみたくなりました。来年は今年やってきたことを活かせるよう頑張ります。

○就農から半年が経ち、振り返って

思っていた以上に覚えることなどがたくさんで毎日が勉強でした。

○1日（仕事）が終わってからの楽しみは？

子どものお風呂

○休みの日にやっている事・したい事は？

美味しいものを食べに行きたいです。

○趣味・特技はありますか？

料理をすること

○経営主からの一言！

怪我には十分注意して早く一人前になって下さい。



岐阜地区

松本 一紘さん

〈経営主：井川 靖敏さん〉（29歳）



共立地区

安藤 聡さん

〈経営主：安藤 英徳さん〉（23歳）

○就農について（きっかけ・今後の抱負）

親が農家ということもあり、小さい頃から意識していました。これから農業の知識や機械について学んで詳しくなれるよう頑張ります。

○就農から半年が経ち、振り返って

同世代も多いので、楽しく農業ができています。

○1日（仕事）が終わってからの楽しみは？

晩酌

○休みの日にやっている事・したい事は？

クライミング・旅行

○趣味・特技はありますか？

クライミング・野球

○理想の女性像は？

優しい人

編集後記

●11月に入り、農作業が一段落した組合員さんも増えてきて事務所で見かけるようになりました。維持管理作業など、これからも続きますが、もうひと頑張りしましょう。

●10月に行われたJAところ収穫“菜”にたくさんの方々のお店・ご来場いただきありがとうございます！開催当日の様子は来月号に掲載しますので楽しみにして下さい。

《営農企画課：広報担当》

成年企画 ワンだふるファミリー

仲良し親子わんこのコマチ、ジョン、スパンク（左より）と飼い主の守屋さん、江田さん、岩松さん夫婦（左より）

今月の表紙は、左から豊川地区の守屋則明さんとコマチ（♀）、江田フクエさんとジョン（♀）、富丘地区の岩松秀隆さんと和子さんとスパンク（♀）です。

お母さんのジョンが来ると子どものスパンクとコマチは喜んでしゃぎ、その後、顔を合わせて挨拶をしていました。

実は、この親子犬の撮影企画が実現したのは、岩松さんから「うちの犬を撮ってくれないか？」と逆オファーの声がかかったのがきっかけです。広報を担当している者としてこのような反応をしてもらえることはあまりなく、非常に嬉しく感じました。

3匹の生立ちや思い出話などたくさん聞くことができとても楽しい撮影となりました。

農作業でお忙しい中、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。



挨拶をする親子わんこたち